

欧米経済史（坂出）

2006.5.16

#5 第一期アイゼンハワー政権（1950年代後半）

テキスト 第5章 欧州統合に対する大西洋共同体の枠組み

1950-60年(p.39-54) より

今日の講義の概要

- (1) Introduction-長期政権の後継首班指名
- (2) ケナンとPPS/55 (先週のまとめ)
- (3) 経済的側面から見たEPU
- (4) 経済的側面から見たECSC
- (5) ニッチィとNSC-68

1. Introduction - 長期政権の後継首班

アデナウアー政権の1963年「1月危機」

大西洋同盟の
枠内の独仏協調

アデナウアー
首相

独仏協力条約
(エリゼ条約)

シュレーダー
外相

エアハルト
外相

シュトラウス
国防相

1. ケナンとPPS/55

George F. Kennan (1904-2005)

1933-37 モスクワ大使館勤務

1944- モスクワ大使館代理大使

1946 「長文電報」

1947 「X論文」 Foreign Affairs

『ソ連の行動の源泉』

マーシャル国務長官の下で政策企

画室(Policy Planning Staff)長

1949.12 PPS室長退任

(後任はPaul H. Nitze)

1953 国務省辞任

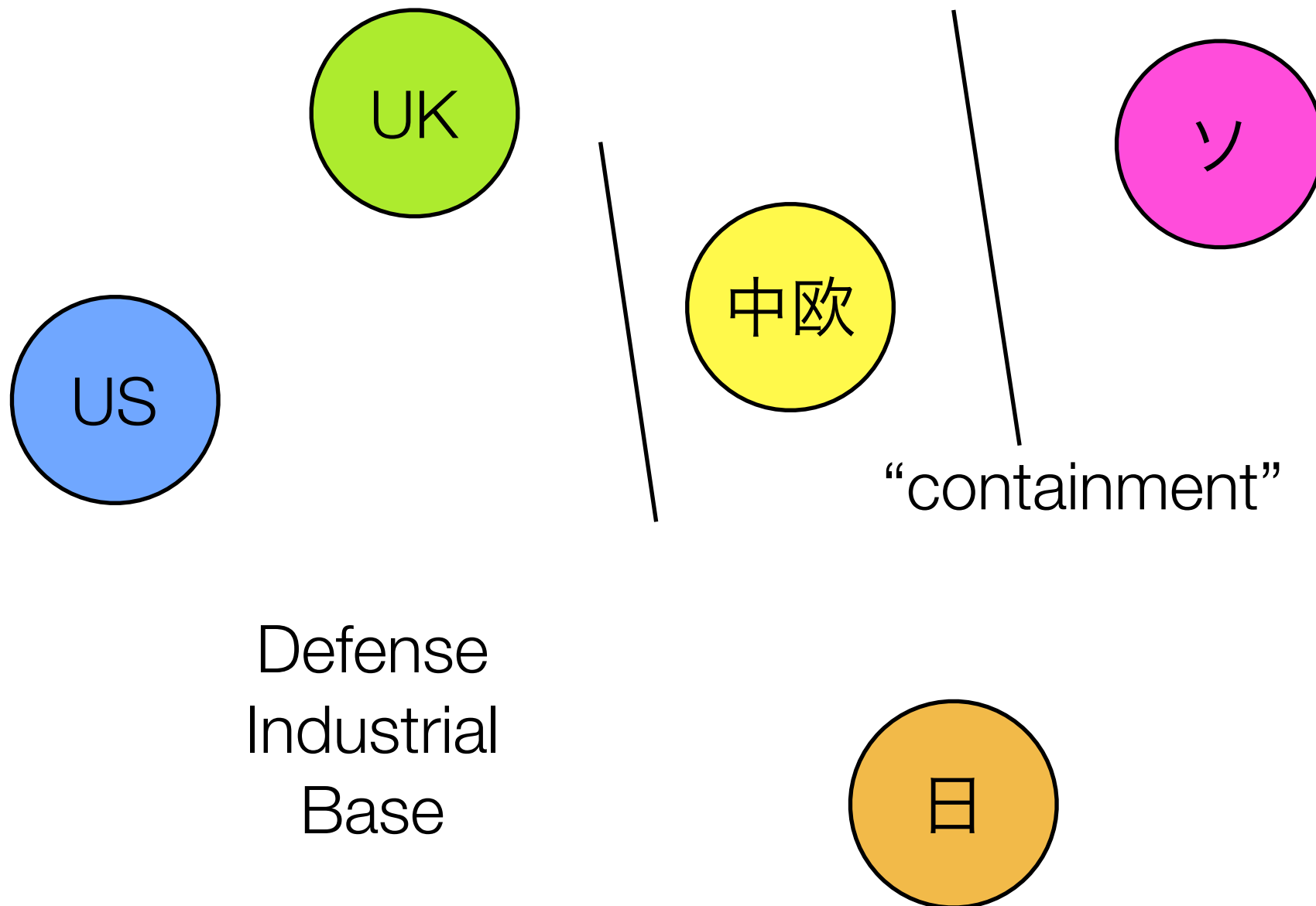
1957 BBCリース講義



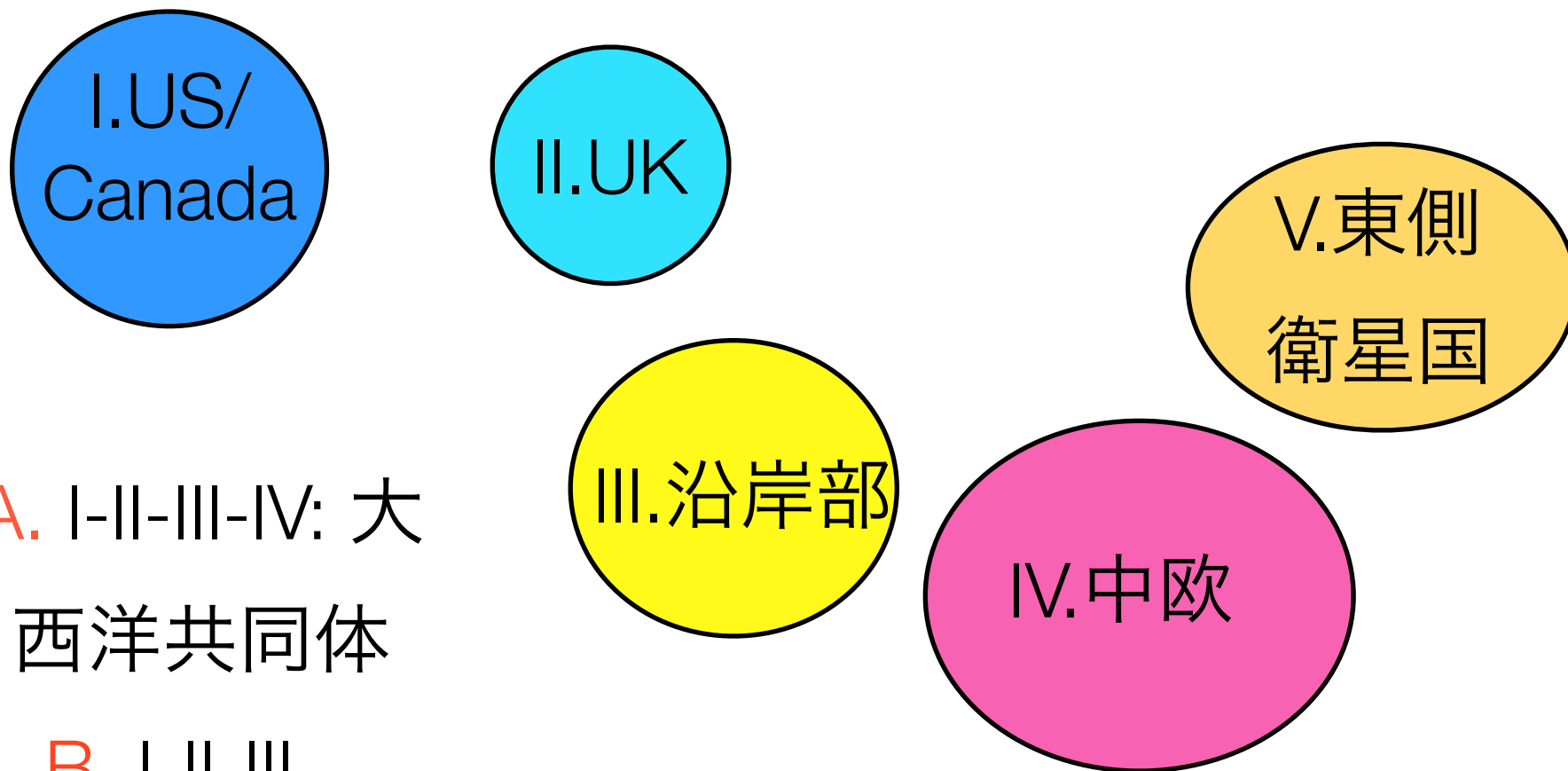
source: en.wikipedia.org

http://en.wikipedia.org/wiki/George_F_Kennan

パワー・センター論



PPS/55(1949.7.7)の世界認識



A. I-II-III-IV: 大西洋共同体

B. I-II-III

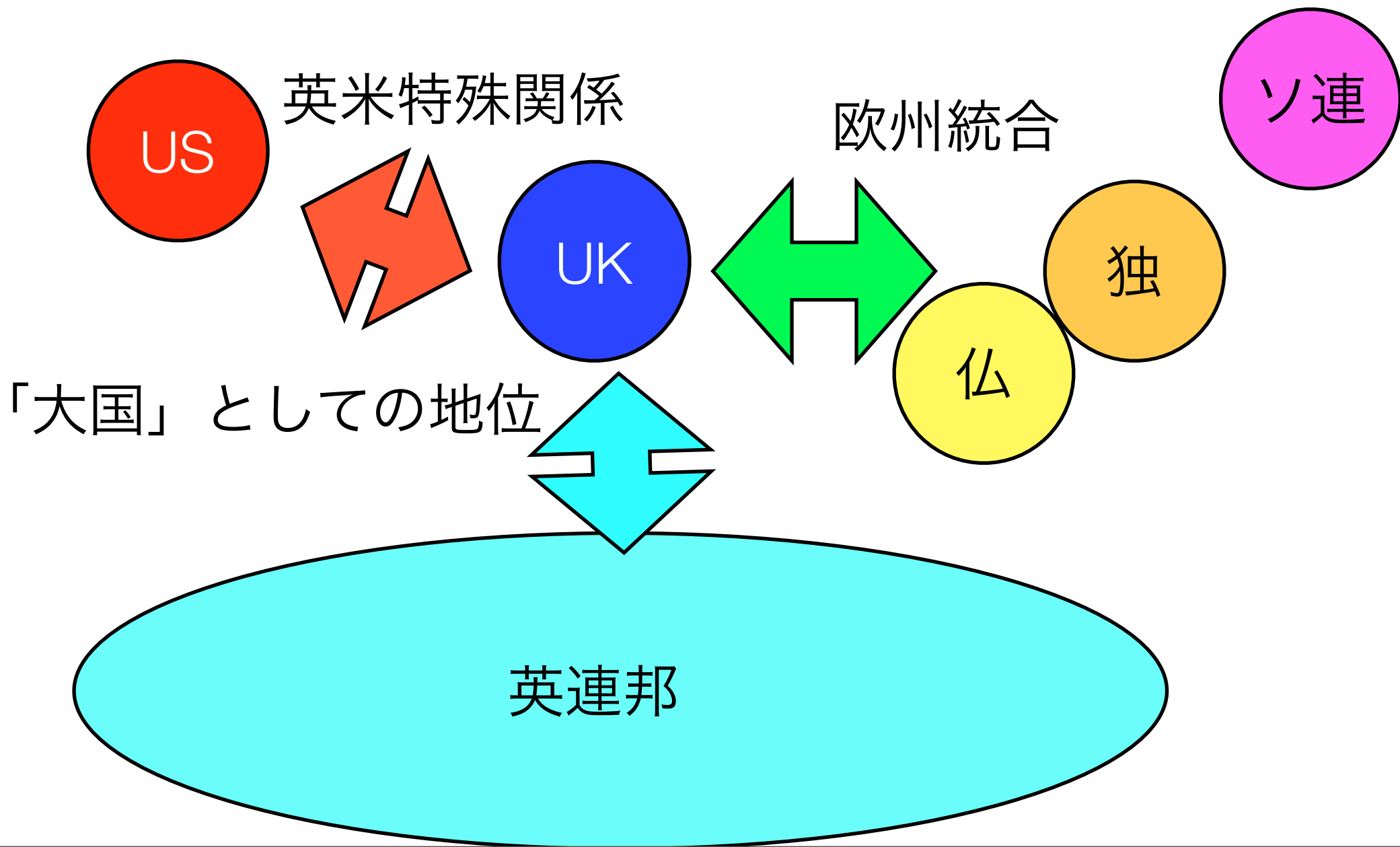
C. I-II: 英米特殊関係 統一ドイツの仮定

D. III-IV: 中立化 (ケナン案)

3. 経済的側面から見たEPU

- 1949.1 アチソン、国務長官就任
- 1949初頭 「1949年の危機」 —西半球のドル圏（米力） ×東半球の非ドル圏（西欧・スターリング圏）の不均衡→非ドル圏からドル圏への輸出困難—\$£レート調整の必要性（欧州通貨レート調整問題）

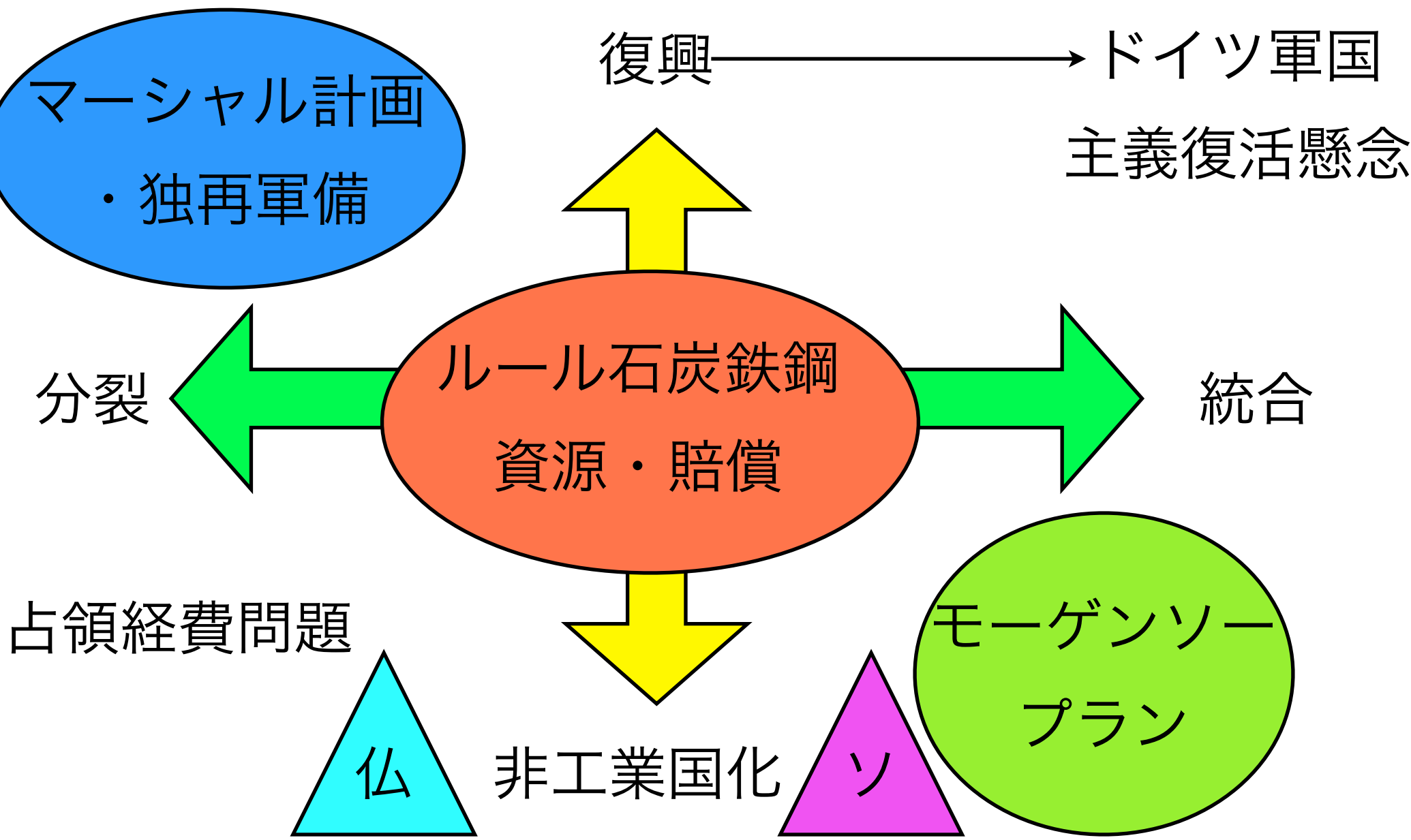
戦後イギリス外交政策（三つの円環論）のジレンマ



1949年ポンド危機とABC会談

- 6.16 英→米 イギリスの深刻なドル危機通告
- 9.5 ワシントン（秘密）会談（ABC諸国）
 - ポンド切り下げ(1£=4.03\$→2.8\$ 9.18発表)
 - 英米金融協定9条（貿易差別措置撤廃条項）放棄はアメリカ認めず。

ドイツ「問題」 (ドイツ戦後処理問題)



4. 経済的側面から見たECSC

- 石炭二重価格制（ルール石炭の輸出価格は国内価格を上回る割増価格）問題
- 9.18ポンド切り下げ発表
- 9.20フランス20.5%切下げ⇒マルク引下げ幅問題
- 9.22-27 米仏交渉→①二重価格廃止②切下げ幅20%

欧州単一市場創出計画と欧州経済同盟(EPU)

- 1949.10.31 ホフマンECA局長—欧州単一市場創出計画声明⇒域内貿易経済自由化(EPU)
- EPUへのイギリス参加問題—「資本主義体制のドル圏とスターリング圏の分裂」危機
- 1950.5.9 シューマンプラン発表
- 1950.6.6 英内閣EPU参加決定 (英外貨準備への配慮引き出す)

Jean Monnet (1888-1979) ヨーロッパの父

1919 国際連盟事務次長

1926～ 米系投資銀行Blair &
Coy欧州責任者

1933 中国国民党宋子文顧問として
中国開発金融公社（上海）設立

Dean Acheson, John McCloy,
John Foster Dullesと親交

1946 the Monnet Plan
フランス近代化5 年計画

1950.5.9 シューマン（仏外
相）・プラン立案

1952.7 ECSC初代総裁



http://en.wikipedia.org/wiki/Jean_Monnet

シューマンプランの伝達プロセス 米仏謀議？

- 1950年5月11-13日 ロンドン外相会議（ドイツ問題）
- 5月7日 アチソン国務長官、パリ到着・シューマン外相・ブルース米大使と
会談（シューマンプラン、アチソンに伝達）
- 5月8日 シューマン外相の特使ボンへ（シューマンプラン伝達のため）パ
リ）アデナウアー参加の意思をシューマンに伝える（細谷149頁）
- 5月9日 ロンドン）シューマン、英ベビン外相に伝達（ベビン激怒）
- 5月11日 ボン）アデナウアー、シューマン書簡受け取る
- 5月16日 アデナウアー—マックロイ（米高等弁務官）会談—アデナウ

5. ニツチィとNSC-68

- ケナンのよる「限定的」封じ込め
 - 外交・ドイツ同一—X論文 NSC-20
- アチソン・ニツチィによる封じ込めへ
 - 軍事・ドイツ分裂—NSC-68

Paul Nitze (1907-2004) 対ソ冷戦の立役者

1928 ハーバード大卒

投資銀行業界へ (ディロン・リード商会)

1944-46 戦略爆撃調査団参加

1950-53 国務省政策企画室長

1950 NSC-68作成

1963-67 SALT I

1967-69 SALT II

1981-84 中距離核ミサイル交渉

1960s-1980s: 米ソ中距離核ミサイル交渉・軍備管理の主導者



source: indice.elpais.es

http://www.elpais.es/elpaismedia/diario/media/200410/22/agenda/20041022elpepiage_3_1_LBW.jpg

来週以降の予定

- 5月23日（火） 第2期アイゼンハワー政権
- 1953-56 EDC（欧州防衛共同体）流産とスパーク報告
- 1957-60 スプートニクショックとローマ条約
- テキスト 第5章 欧州統合に対する大西洋共同体の
枠組み1950-60年(p.39-54)
- 講義情報 経済学部HP→教員紹介→坂出健